

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	工業振興推進事務	会計	一般会計	事業No.	496	施策順No.	11-056
		事業種別	政策・その他	予算科目	7-1-5-10-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	工業課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	飯伊の企業及び従業員						A十分達成したBどちらかといえば達成したCどちらかといえばできていないDほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		地域内事業所数(飯伊)	615	617	539	550	550		
		地域内企業従業員数(飯伊)	17971	17798	15476	16000	16000		
意図		産業クラスター化の推進							
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		クラスター形成を目指したプロジェクト数	1	2	4	3	3	3	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	新たに環境産業に取り組む「エコバイク研究会」が立ち上がった。航空宇宙産業・食品産業とあわせ、3つのプロジェクトに取り組むことができた。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	支援機関(地場産業振興センター、飯田商工会議所)・大学等と連携しながら、工業振興事業全般(調査及び業務委託、事務処理等含む)にわたる業務を行う。 ＜参考＞細々目名:工業振興一般経費(合同事務所経費含む)		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 企業の現状調査 2 環境配慮型製品の申請審査と認定及びPR (1)メッセナゴヤ2010への出展 (2)環境ラベルの登録・認定 3 企業人材確保住宅の管理 4 工業団体の運営事務	1 企業調査数(延べ) 2 環境配慮型製品受付件数 3 企業住宅入居戸数 4 工業会団体	1 179社 2 1件 3 8戸 4 3団体
23年度実施計画	1 企業の現状調査 2 環境配慮型製品の申請審査と認定及びPR 3 企業人材確保住宅の管理 4 工業団体の運営事務 5 地場産センターと連携し、飯田市負担金事業を実施する。	1 企業調査数(延べ) 2 受付件数 3 企業住宅入居戸数 4 工業会団体	1 160社 2 1件 3 7戸 4 3団体

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		6,175	5,411	5,824		
計(A)		6,175	5,411	5,824		
正規職員所要時間			800			
臨時職員等所要時間			500			
人件費計(B)			3,398			
トータルコスト A+B			8,809			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> すべての取り組みにおいて「環境」の視点をもって取り組まれたい。(平成20年度 産業経済委員会 決算認定提言書) パワーアップ協定の検証を行うとともに検証結果を公開されたい。(平成21年度 産業経済委員会 決算認定提言書) 各分野において現場の声を良く聞き、短期的・長期的展望に立って施策を進めるよう配慮されたい(平成21年度 産業経済委員会 決算認定提言書)

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	既存事業者の出荷額(工業)飯田下伊那(億円)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・地域内企業の産業活動をサポートすることにより、安定的な成長と新たな産業創出に繋げることができた。		
	後期に向けた課題	・震災等の影響により、今後益々厳しい経済状況となることが予想される。いかに多くの情報を得て、スピード感とベターな振興策を選択し、事業を行うことができるかがカギとなる。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・企業誘致担当や地場産業振興センター等と連携しながら、事業に取り組んできた。		
	後期に向けた課題	・LED防犯灯製品開発のような事例が増えるように、市の他部署と連携して、製品開発に取り組む企業を応援していきたい。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・事務用品等の削減に努めている。		
	後期に向けた課題	・燃料等の高騰によりコストの増加が予想されるため、燃料コストの削減に努めたい。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・環境配慮型製品PRのための展示会出展や企業人材確保住宅の家賃等については企業が負担。企業の事業活動の環境を整える側面的な支援は必要である。		
	後期に向けた課題	・企業人材確保住宅が、築後5年が経過する中で、家賃の見直し検討時期にきている。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①事業者は、安定的な経営を維持するために、自らがパワーアップする事業活動を積極的に展開してきた。経済団体や支援機関は、専門性を活かした支援を行ってきた。 ②行政は、企業の事業活動をサポートするための体制を整備してきた。		
	後期に向けた課題	・大震災の影響により、産業構造が大きく変化する恐れがあるため、官民一体となって情報収集に努めながら、スピード感のある工業振興策及び企業誘致に結びつけたい。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・産業支援機関、商工会議所、金融機関、市の他部署と連携しながら、工業振興施策に取り組み、企業の事業活動を側面的に支援することができた。		
	後期に向けた課題	・産業支援機関、商工会議所、金融機関、市の他部署と連携しながら、産業構造の変化に対応した工業振興施策を組み立て、企業の事業活動を支援していきたい。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--